

9 月 4 日：相場は材料難から下落

株式市場は続落、材料難のため買い需要が乏しかった。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.18% 下落し 977.63 ポイントで取引を終えた。

火曜日の取引でも 0.26% 下落していた。

出来高は 1 億 5740 万株で売買代金は 5.1 兆ドンであった。（2 億 1800 万ドル相当）

VN30 指数も 0.4% 下落し 888.97 ポイントで取引を終えた。18 銘柄が下落した。

サイゴンハノイ証券によると、投資家は支持材料もなく警戒を続けているため、買い需要が弱いとのことだった。

不動産、情報、ゴム製品、建設資材などのセクターが下げを牽引した。

サイゴンビールアルコール飲料総公社（SAB）（-3.3%）、ビンググループ（VIC）（-0.5%）、ベトコムバンク（VCB）（-0.6%）、VP バンク（VPB）（-2.5%）、ベトジェット航空（VJC）（-1.2%）、ビンコムリテール（VRE）（-0.7%）、ビナミルク（VNM）（-0.2%）などが主な下落銘柄だった。

工業団地セクターは引き続き利益確定圧力に押されることになった。ソナデジ（SNZ）（-8.6%）、ナムタンウエン工業団地（NTC）（-4.6%）、ソندا都市開発投資（SJS）、VRG サイゴン投資（SIP）（-2.4%）、キンバックシティ（KBC）（-1.3%）、第二工業都市開発（D2D）（-0.5%）などが大きく下落した。

一方、上昇した銘柄はビンホームズ（VHM）（+1.6%）、ペトロベトナムガス（GAS）（+0.6%）、マッサングループ（MSN）（+1.4%）、テクコムバンク（TCB）（+1.4%）、軍隊商業銀行（MBB）（+0.9%）、バオベトホールディングス（BVH）（+0.7%）、ベティンバンク（CTG）（+0.3%）、ノバランド不動産（NVL）（+0.3%）などであった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.45% 下落し 100.95 ポイントで取引を終えた。

出来高は 3270 万株で売買代金は 6990 億ドンであった。

外国人投資家はホーチミン市場で 341 億ドンの買い越し。ホアファットグループ (HPG) (427 億ドン)、ベトコムバンク (VCB)(152 億ドン)、ビンコムリテール (VRE)(115 億ドン)などに買いが集まった。ハノイ取引所では 178 億ドンの売り越しだった。

BIDV 証券によると、アジアの他の市場とは反対にベトナム株はわずかに下落した。流動性は依然として低いままであった。支持材料に欠ける状態を考慮すると、同様の調整が今週は続き 975 ポイント付近を試すことになるだろうとのことだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。